

令和5年度実績(イオン株式会社)

No.	連携項目	連携事業名	実施時期	連携・協力内容	関係課、担当課
1	(1)福島県産品の販売に関する事 (2)福島県の地産地消に関する事	「ふくしまうまいもの市」開催	令和5年6月・10月	旬の県産農林水産物を拡販するため、6月と10月に県内4店舗で地産地消を推進するフェアを開催。	農産物流通課
2	(1)福島県産品の販売に関する事 (2)福島県の地産地消に関する事	奥会津フェアの開催	令和5年10月	奥会津地域の生産者支援と販路拡大のため、いわき店と福島店でフェアを開催。	会津農林事務所
3	(1)福島県産品の販売に関する事 (2)福島県の地産地消に関する事	夕やけベリー試食販売キャンペーン	令和6年2月	デビュー2年目を迎えた「ゆうやけベリー」の認知度向上と拡販のために、イオンスタイルいわき小名浜でミスピーチキャンペーンクルーによる試食PR販売を実施。	農産物流通課
4	(1)福島県産品の販売に関する事 (2)福島県の地産地消に関する事	ふくしま鮮魚便	通年	イオン全国16店舗で水産売場内に「ふくしま鮮魚便」コーナーを設置し拡販を実施。	水産課
5	(3)健康増進・食育に関する事	ふくしまヘルシーメニュー販売会	令和5年7月	福島店と郡山フェスタ店で、福島学院大生・郡山女子大生が考案したヘルシーメニューを商品化して販売会を実施。	文化振興課
6	(3)健康増進・食育に関する事	食環境整備モデル事業	令和5年9月～11月	福島県のメタボ該当者の減少を目指して、弁当・惣菜等を減塩や低エネルギー化して販売することや、ベジ・ファーストを促す環境づくりを行い、県民が健康的な食行動を実践しやすい食環境整備の推進を目的とし、県と委託契約を締結して取り組みを実施。	健康づくり推進課
7	(6)環境保全に関する事	猪苗代・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作展示会	令和5年9月	猪苗代・裏磐梯湖沼の水質改善の普及促進のため、いわき店でフォトコンテスト入賞作品の展示会を実施。	水・大気環境課
8	(6)環境保全に関する事 (8)地域・暮らしの安全・安心に関する事	「ふくしま再エネファミリーラボ」	令和6年1月	イオンモールいわき小名浜店において、福島県が再生可能エネルギーの理解醸成を目的に県民を対象としたイベント(ふくしま再エネファミリーラボ)を実施。	エネルギー課
9	(1)福島県産品の販売に関する事	ふくしま農林水産物ブランディング事業	令和5年10月、令和6年3月	県産農林水産物の販路拡大に向けて、10月に板橋店、3月にレイクタウン店と首都圏の2店舗において、旬に合わせたフェアやステージイベントを開催。また、3月には福島牛を全国のイオン約360店舗において販売。	農産物流通課

10	(1)福島県産品の販売に関する事 (2)福島県の地産地消に関する事	GAPの消費者等理解促進事業	通年	GAP認証農産物の販売コーナーを常設。GAPのパンフレットなどを配布し、GAPの周知協力。	環境保全農業課
11	(1)福島県産品の販売に関する事 (2)福島県の地産地消に関する事	「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーン事業	令和5年11日	県産米の消費拡大のため、県内店舗にて対象の県産米を増量。	農産物流通課
12	(1)福島県産品の販売に関する事 (2)福島県の地産地消に関する事	「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーン事業	令和5年11日	旬の県産農林水産物をPRするため、11月にイオンスタイルいわき小名浜において地産地消を推進するトップセールス等を開催。	農産物流通課
13	(2)福島県の地産地消に関する事	福島県立清陵情報高等学校とのタイアップ商品開発及び販売	令和5年4月～	県立清陵情報高等学校の生徒たちが、イオンと連携して、県内産の食材を使用したおにぎりを開発し、令和5年7月26日より期間限定で販売。	高校教育課
14	(2)福島県の地産地消に関する事	福島県立小高産業技術高等学校とのタイアップ商品開発及び販売	平成29年4月～	県立小高産業技術高等学校の生徒たちが、イオンと連携して、県内産の食材を使用したお弁当を開発し、令和6年3月6日より期間限定で販売。	高校教育課
15	(6)環境保全に関する事	アクアマリンふくしま × イオンモールいわき小名浜 「小名浜応援キャンペーン」	通年	以下キャンペーンを実施。 ①イオンモールいわき小名浜の協力店舗で、アクアマリンふくしまの年間パスポートを提示すると、割引などの特典が受けられる。 ②イオンスタイルいわき小名浜2Fサービスカウンターで、アクアマリンふくしまの年間パスポートとイオンスタイルアプリを提示すると、WAONノベルティグッズをプレゼント。	生涯学習課
16	(6)環境保全に関する事	地球にやさしい消費推進事業	令和5年7月～	エンカル消費の普及啓発のため「てまえどり」の県オリジナルレールポップを作成し、各売り場に掲示。(計1200枚)	消費生活課
17	(6)環境保全に関する事	地球にやさしい消費推進事業	令和5年4月～	エンカル消費研修会を開催し取組事例を聞き、自分たち事業者側からエンカル消費推進に関して具体的に何が出来るか活動のヒントにする。 4/19「エンカル消費推進に向けた磐城高箸の取組 講師:(株)磐城高箸 代表取締役 高橋正行氏	消費生活課
18	(6)環境保全に関する事	地球にやさしい消費推進事業	令和5年8月・令和6年2月	エンカル消費についての常設展示をするほか、福島店といわき小名浜で週末イベント(「エンカルヤッテルキャンペーン」)を実施し、エンカル消費や食品ロス削減の気運を醸成する取り組みを実施。	消費生活課
19	(9)災害対策に関する事	「ふくしま追悼復興祈念行事」の周知	令和6年2月20日～3月24日	ふくしま追悼復興祈念行事のポスター・チラシ掲出による周知協力。	企画調整課

20	(11)その他、地域社会の活性化・住民サービスに関すること	「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」への寄附	令和5年7月18日	「黄色いレシートキャンペーン」「東北復興支援WAON」等の活動から「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」へ寄附(10,370,003円)	子ども・青少年政策課
21	(11)その他、地域社会の活性化・住民サービスに関すること	県政情報コーナー	通年	県民サービスの向上に資するため店舗内に「県政情報コーナー」を設置し、県民により身近な場所で県政情報を提供(イオン県内各店舗)。	企画調整課